

○事業所名	こども発達支援センターいるか まくらざき		
○保護者評価実施期間	R7年1月9日		R7年1月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 6名
○従業者評価実施期間	R7年1月9日		R7年1月20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名
○事業者向け自己評価表作成日	R7年1月6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	活動プログラムの立案を職員間で意見を出し合いながら活動に取り組んでいること。	活動が固定化しないように振り返りを行っている。 また、前回の活動を生かしてステップアップを図り活動決めを行っている。	同じ内容の活動ではマンネリ化するので、活動が発展して次に生かせることができるかということも踏まえて、活動の充実化を図っている。 また、児童に、希望する活動の聞き取りを行い、それらを取り入れることで活動に対する意欲も見られる。
2	放課後等デイサービスのガイドラインの「4つの基本活動」を組み合わせて支援が行えている。	特に、「日常生活の充実と自立支援の為の活動」、「多様な遊びや体験活動」、「子どもが主体的に参画できる活動」においては活動内容に盛り込んで行っている。 それぞれの能力や技術等を踏まえた上で、個別や集団等に合わせながら活動を行っている。	自立支援の為の活動では、友達間で話し合っ決めてる場面や一つの作品を友達と協力しながら作成するなど協調性や自立性を育む活動を行っている。 また、児童に意見を聞いて自分の思いやしたいことなど友達との関りが多く持てる場も提供している。
3	家族等からの子育ての悩みや相談については、迅速に対応、面談等を行っている。	保護者様の悩みや相談をたくさん聞くこと。 訴えかけたい思いや悩みを保護者様の口から聞くことで、少しでも不安を軽減できるよう取り組んでいる。	相談や悩みがある際には、状況に応じて面談等を設ける等、保護者様や利用者様が困っていることを軽減できるよう迅速に対応している。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	就労に向けた支援の取り組みを充実させていきたい。	就労に関する専門・質の向上に向けての取り組みが不十分な部分と考えられる。	・活動の取り組みを、再度職員間で話し合っプログラムを組み立てる。 ・実際に就労先の訪問等を行い、現場で必要なスキルや技術を知ったうえで、プログラムを組み立て支援に生かす。
2			
3			